

自由意見

経営に不慣れな公務員にやらせるより民間の経営にまかせた方が税金のむだづかいにならない。
近年の少子化は今大人達にとっても大きなテーマですがこれを結びつけるアイデアが1つあります。地域の保育歴のある人達とが連携し園の新しい運営です。例えばそこに子供用の何か美容院とかレストランあったりしたら大人も来ませんか？ この園の最大のコミュニケーションが他と違ったフレンドリーだからこそ出来る次の年代1くぐりの地元感出しても良いのでは？ とちの木の下で、大切な「助けるはあたりまえ」を教えていただいたからこそ、大人になった子供達（卒園児）は助けるシステムに目を向けないですかね？長々と失礼いたしました。 (Ex) 未来コンビニみたいなイメージです。
子供は民間幼稚園に行きました。公立はあまり良く思い出いなのですが、そこに入りたいとの思いがあるのかも！
インクルーシブ教育の意味が分かりませんでした。 説明書きが必要（アンケート）だと思いました。
明るく健やかな子供に育つよう、教育をお願いしたいと思います。 必要があれば、運営に際して寄付金を出すことも可能です。
コストをかけ、現状の公立幼稚園を維持するより、真に必要な家庭に公的支援を充実し、私立へシフトすべき。
民間幼稚園では受け入れの難しい子どもたち（家庭）も小集団であれば在園できる場所として維持していただけたらと思います。 定員人数を少なくし、人件費削減（園長は兼務など） 少人数で特色ある保育内容にすることで障害を持っていない子ども達の保護者も魅力ある園になるのでは？
近隣の市町村状況調査して対比してください。 本年度の運営状況の結果を見て強い信念で推進してください（費用対効果）
無料で、園庭も広く建物もりっぱで環境の良い幼稚園のように見受けられるが、園児が1人になってしまった状況が何故起こってしまったのか疑問である。
費用については、何ともいえませんが、幼稚園は集団であることに意味があると思うので、少人数（1ケタ）では、成り立たないと思います。
公立の幼稚園は経済的な余裕のない方には必要だと思います。 水道道路開通で不明の税金をはっきりさせれば運営は数年～十数年可能です。私に子どもは居ませんが子供達、佐倉市の為頑張ってください。
公立の特色を生かす努力がなされてきたのか疑問に思いました。 入園希望者が極端に少ないのは、長い間の怠慢の結果と言われても仕方がないと思います。特に不便な場所でもないのに近くの人でさえ通わせないのはなぜか、考えたことはあったのでしょうか。 ここまでギリギリの状況ならば残す意味はないと感じます。 存続希望に意味があるならば特別な教育をすとか、目的がはっきりしているならば市民の納得は得られるかもしれません。
保育を平等に。
市のお金を使う上での、費用対効果、優先度を考えて、閉園もやむを得ないと思う。

今の市の現状では、市立の幼稚園は必要ない状態かもしれません。 もっと子供に対する支援を厚くして子育てしやすい環境にして若い住民の移住を増やせば市立幼稚園も必要になってくると思います。
子供はなるべく多勢の人と関わって、のびのびと育てほしいので少人数では無理があると思う。 佐倉幼稚園が特別な保育等があり、それを希望する人が居るのであれば考慮する必要もあるように思う。
在籍数が少なすぎでしょう いくらなんでも1ヶタでは、存続の意味がないと思う、設問5の1（紙）がすべてではないでしょうか。
幼稚園の枠にとらわれずに時代にあったサービスを提供するようにしてほしい。 別の形で継続していただきたい。
保育園を必要としている世代が少ない地域だと推察します。 住んでいる志津地区では、保育園探しをしているママもいると聞きます。 働くママにとって、延長保育が必要です。民間保育園の延長制度がわかりませんが、無しう化になる年齢は良しとしても、乳児等の無しう化がどのように今後明確にして市民にもわかる事を期待します。 残念ながら廃園はいたしかたないと思われる。
保育園とは違う利点を明確にして、商品価値を上げていく努力が不足していたのではないかと、という疑問がある。公立という安定性（経済的・運営的な）にあぐらをかいて自助努力してこないつけが現在の結果になっているのではないかと。今後続けていくのであれば良さや特徴を創り出し、遠くからでも通いたくなるような幼稚園を目指してほしい。
行政の責任として、公立幼稚園の設置は大切と思う。 閉鎖した幼稚園を再度復活するには相当な体力が必要となると思われる。安易になくさない方がよいのではないかと。
少子化対策に対する市の取組みが消極的である。
その地域で将来子育て世帯が増えたら必要になるからです。教育の場がなくなる事は残念だと思うので何らかの形で維持すべきだと思いました。 活性化された地域に変えていけるといいですね。 幼児教育が（その状況に応じて臨機応変に）継続されるとうれしいです。
教育機関で公立が0になることは避けてほしい。 現状のままでは一時閉鎖もあるだろうが、小規模にリニューアルするとか、駐車場をよりよくするとか、お金と時間はかかっても復活してほしい。 子どもとお母さんが、一目見て好きになるような建物、園庭なら人は戻ってくる。 そこで教育内容をアピールすれば、ちょっと遠くても通わせたいと思う、と思う。
民間でも障害児やケアの必要な子を受け入れているとあるが、そのような所は限られていたり、通ったとしても時間や日数を制限されたり、快く受け入れてもらえない部分もある。受け皿として、佐倉幼稚園の今までの経験や公立としての役割に期待し、安心するということもある。費用については使用規模を縮小したり工夫してできることもあるのではないかと。存続か閉園かの2択にして考えるのではなく、公立としての責任や役割を果たすためにどのような維持方法があるかを考えてほしい。 どんな子どもでも保育・教育を受けることができる市、喜ばれ成長できる市であってほしい。 同封の「あり方に関する現状と課題」にはどのように保育がなされているか（障害やケアの必要な子を積極的に受け入れていること等）が書かれておらず、課題ばかりで否定的な文書に見えます。何も知らない方々には、反対の理由しか見当たらないと読めるのではないのでしょうか。資料の作成、アンケートのとり方に問題があると思います。中立に行っていただきたいと思います。

公立のよさが必ずある。それを生かせていない。もっと以前から対策していればこうではなかった。民間に任せると決めていたのならば私立の幼稚園も色々と公立並みにすべきところがある。先生も公立の場合それなりの試験研修もあると思う。私立も準じて欲しい。

年間8800万円と聞き、おどろきをかくせません。国は無償化など言っていますが結局のところそれぞれの市が負担するわけでそこがおかしいと思います。それならば国の財政から出してほしいです。しかしながら大切な一人一人の子どもたちを我々大人が佐倉市民が佐倉の子供たちをみんなで育ててゆくという意識を持てるように市長自らがもっとアピールして何かいろいろなアイデアを出してゆくべきです。参加者を募るというのは出たい人だけが参加するでは無関心の多いこのご時勢、子供を持つ親、佐倉幼稚園へ今後通う予定のある親御さんたちがやきもきするというのは何も発展が望めません。

佐倉市民一人一人が自分たちが納めている税金の使い方をもっと把握する意識が持てるようなアイデアはないでしょうか？

市民一人一人がもっと考えて行動する—そういう人がもっといるはずだと思います。

佐倉幼稚園のみならず人口がへってゆく中で今後このような問題がたくさん出てくることでしょう。市民の一人として何かお役に立ちたいなとそうゆう場がなかなかないですね。

また今後幼稚園のみならず学校も無償化で市の財政の圧迫が心配です。市民一人一人がアイデアを出して少しでも税金のムダ使い、またはふるさと納税などで入ってくるはずの税金がどこかへ消えてゆくなど．．．佐倉市の発展にいろいろ市民の力、アイデア—体感を出して何とか踏ん張りたいものです。

書きたいことが山ほどあり話がそれてしまったかもしれません。（すみません。）

とにかく、子供たちの幼稚園、保育園などももっと有効的に運営できるアイデアが必要だと思います。

佐倉にたくさん税金がまたは収入が入るように魅力ある町づくり大切だと思います。若い力も！お年寄りの知恵も！いっぱいあるはずですから。

市長室からいろんなアイデアを募って下さい。佐倉市よ、永遠なれ—。

現状と課題が閉園するにふさわしい理由ばかりで、反対が述べたであろう意見が記述されていない。運営コストがカットされた場合の、園地の使い方は？私立とくらべて営業努力はしたのでしょうか？ただ人口の減少だけで閉園させるのはあまりにも役所すぎる。幼稚園を発展させる形での閉園を望みます。

少子化の中での幼稚園の選択は楽しみでもあるが経営的には難しい。佐倉市の場合、市立が一園で私は他市から子供が小学校の時に転校したので幼稚園は経験ないがまわりのお子さんが保育園、志津幼稚園、八千代市の幼稚園に行ってるのを見てました。園児が一人や六人等集団生活を学ぶことは大変と思う。経済的とか近いとか理由があると思うが市民の希望は多いので、聞き入れるのも大変と思うがこの件は私は、保育園や私立幼稚園を選び補助金を出したほうがいいと思います。

我が家は保育園を利用したので幼稚園の現状について良くわからないのですが、今は3年保育が主流なのでは？2年保育だと保護者の選択からはずれてしまうのでは？公立だから利用したい保護者も少なくないと思います。2年保育のメリットを全面に出すのも良いかと。

（良くわからないのに無責任なことばかりで申し訳ありません）

現状を十分分析し政策を遂行してほしい。一部の人達の利便さを重視して政策を実施するのは市政において問題が発生する。

民間の幼稚園で支援が必要な幼児の受け入れがされているのであれば閉園でよいのではないのでしょうか。

幼稚園の現状を知り近々閉園はやむをえないと思います。管轄違いかもしれませんが子ども支援センターに力を入れてはいかがでしょうか。娘一家が住む神奈川県では、支援センターが充実しているようで土、日も開館していて夏の暑い日、冬の寒い日、外の公園で遊ばせるのをためらう日に助かっているそうです。外の公園では、不審者、飛び出しでの車の事故など心配することがありますが室内で職員さんがいることで安心して遊ばせられるそうです。集合住宅では、ためられる子ども動きにも子ども服の物々交換なども行われていて大変喜んでいました。おもちゃも使わなくなったものの寄附でしょうか、たくさんありました。ユーカリイオンの空店舗にでもあれば利用しやすいと思いますが、孫がこちらに遊びに来て遊ばせるに困りません。
佐倉幼稚園のあり方を考えるよりも佐倉市に若い人が集まる魅力ある市にする事を考えるべきだと思う。今の佐倉市には魅力がない！
近くに住む人達は優遇されます。市民の税金ですので皆、平等に通えるようで無いのであれば必要無いと思います。
孫が5人います。なぜ、民間の幼稚園が子供が集まるのか？保育の内容を考えて人気が出る様に変えてみたらいかがでしょうか？
少子化対策に資する幼稚園の更なる充実の研究
一度なくなると再開は非常に難しい。民間だけになるとリスクに対応できなくなる。
幼い母親が多くなっている現在、0才児からの保育が必要となっていると思います。私の孫も二人の幼児を預けたいと思っても私立の保育所しかありませんでした。家族で手伝えるのも限界があります。公立への援助に力を入れていただきたいと思います。
税金で運営されている事を考え、必要ある税金使用を優先順位を決めて実行してほしい。本件の優先順位が理解不能です。
働くお母さん達が多いので何時まで預かってくれるのか、給食はあるのか等、一番最初にそこが重点となつてと思うので保育園、私立などが人気なのは事実。なくてもいいのではという声はたくさん聞きます。
世代が違うため、佐倉幼稚園の課題は全く知りませんでした。この機会に情報を得ることができて良かったと思います。よりよい幼児教育環境として、現状の人数では少なすぎるのではないかと感じました。
年少児も受け入れてほしいです。
運営コストが税金で行われていると思うと・・・。 税金で運営自体が古い考えではないでしょうか。自費を負担してでも、他の幼稚園を選択している保護者達からすればうらやましいですが・・・。
公立幼稚園閉園により、運営コスト（約8,800万円）が削減できるのであれば、この予算を幼児教育全般の充実に振当てることを希望します。 ①幼児教育の必要な全所帯を対象に一律に補助金を支給する。 ②民間幼稚園の運営実態がわかりませんが、通園バスの事故など職員不足が原因となるような案件があるようです。市として民間幼稚園への資金援助も考えてもらえたらありがたいです。
親が安心して預けられる幼稚園が閉園になることは、これから入園をかんがえている方たちは不安になることだと思います。閉園するのであれば、佐倉幼稚園を必要としている方へ納得がいく説明が必要だと思います。

生徒数が一人になってしまうのであれば、他の幼稚園に委託するべきだと思う。未就学児への対応がいい佐倉市だが、少しもったいないと感じる。
子供の数が全国的に少ないのは、今後の運営に門をしている。知恵をだして改革が必要と思われる。
早急に少子化対策を幼稚園でも検討すべき、入園児が0になったらどうするのか？ ①民間との連携を早急に検討 ②小学校内に幼稚園の機能を取り入れる 等
幼児教育環境、支援が必要な幼児への対応等について、その責任性については国や東京都も認めている通り、全責任が国、県、市にあると考えます。過去よりその責任について真剣に対応していたとはいえ、ましてや市は税金が少ない等を言い訳に全く対応してこなかったのが実情であり、その対応策となきに等しいかと思われます。今後の対応を注目する。 (対応策) (1)市内の適当な場所に、全体（少人数の場合は特に）の幼児を集めた集合幼稚園を作り対応する。（集合方法はバスが現在は適当と考える、安全性については一考するべき。） (2)小・中学校との一体化案 現在の税金でのやり方は大型経営が最適、コストがかからない方法を選ぶこと。 この案は幼稚園だけでなく、小・中学生の子供が少なくなる全体としての対応案でもある。 具策ではありますが一考されたい。 以上
閉園したとしても、特別な支援が必要な子に対する支援策は、検討しておく必要あり。
私も老人になってしまっって何を云っていいかわかりません。お役にたてず申し訳ございません。どうぞよろしくお願い致します。
少子化は止まらないと思う。女性の高学歴、社会進出が当たり前になり管理職になる方も多くなり、経済的にも男性と同等となり結婚より自分自身にお金を投資する女性が増え、男性も一人の方が楽しし当然、結婚に関して後向きになる。日本は成人になるまで金がかかる仕組みが出来ている。
志津地区は近くに公立の幼稚園がなかったので、民間の幼稚園に通わせました。 入園児1名には驚きました。同級生のいない子供も可哀そうです。 無償化となったなら民間に通わせるべきです。
通園バスが無いと聞きます。共稼ぎ世帯が増えている中、通園させられない理由の1つでは無いでしょうか？公立幼稚園は幼稚園の目安となる教育内容ではないでしょうか？ 幼稚園の形式が無理でも、幼児教育の係り方を市として提示して欲しい。
設問6と7については選択肢に「その他」が無い為、その中から選びましたが、人口の減少に限らず民間も同様の立場は変わらないので、公立として最後の一人となるまで運営し続けるべきではないのでしょうか。6ページの3.にある「特色ある幼児教育」を佐倉幼稚園も独自の特色ある幼児教育でしっかり運営していくべきと思います。
後日、思う事があるので文章にして送信したいと思います。
民間幼稚園でも、幼児は少なくなっって園も少なくなっていくのではないのでしょうか？やはり、公的な幼稚園があって良かったと云う日が来るのではないのでしょうか。他の市などではどうなっているのでしょうか。
若い世代に結婚を促す政策をして人口増を望みます。

咎越ではありますが以下に私が考える事を述べます。 (1)園児の減少は、市の人口が伸びなくそれは佐倉は移住を決意させる魅力がない。人が動かなければ物が動かない、それを市政を動かす財政に影を落とす。 (2)働きやすい市、子供を育てやすい市、働く両親が安心して預けられる場所、幼稚園、保育に拘る必要はない、インクルーシブ教育を提唱しているならばチャレンジすべし。 (3)駅に隣接する場所に施設を作る、子供は宝、人が集まる市であってほしい。
民間の幼稚園が多数有るのでそちらへの転園も有りでは。 議員の反対派は票稼ぎの為しかない。 税金の無駄使いはやめて他の使い道はいくらでもあるはず。
佐倉幼稚園出身者です。お世話になった幼稚園が閉園してしまう？と伺いなんとも寂しい気持ちです。 特別な支援が必要な幼児も15歳になれば義務教育を卒業し、社会の一員になるのですから、集団の中で教育を受け成長し、自立していくことが不可欠だと考えます。そして、その子どもに合った学びの場を、教育委員会が導き、保護者に正しく選択してほしいと願います。運営コストよりも、将来の納税義務者育成に重点をおいて、考慮してほしいと思います。
入園希望者がほとんどいないのでは、市立の幼稚園として存続する意義がないように思う。昨年の閉園決定は、あまりに急な事で驚いたが、特例な支援が必要な子の為だけしかニーズがないのであれば、残念だが閉園はやむなしと思う。
これからの少子化対策も合わせて考えていかなければ、幼稚園を残せば良いというだけの問題ではない事は明白ですね。 それでも、子育て世代の方達の選択の幅が少しでも広いと良いなと思います。
このアンケート用紙の質問は閉園に誘導しているように思います。 お母さんたちがなぜ閉園してほしいか書いてないのでよくわかりません。本当にすべてにお金がかからないのか継続されるのか今の政治は不安です。 市税を使うことになるので閉園は仕方ないのかもしれませんが。教育料は無償化でも私立は他にかかる教材料とかがあるのでお金がかかるのでは？
今ある施設に自由に入る入らないを言える環境であればそれは素晴らしい。しかし、今あるパイの優先順序を決めないと、この先もっと厳しい財政になりそう。 子供は宝だけど、他の選択肢があるなら優先的ではない。
アンケートは娘の意見で回答させていただいたので家族の意見を言わせて下さい。(60歳代主婦) 民間の幼稚園も補助があるので公立幼稚園の存続が大きい小さいかという小さい様に思います。 存続すれば、経費がかかります。先生の給料、施設の管理等すべて税金です。もちろん必要な方もいらっしゃるのですが、少数の方の為に税金とのバランスが多すぎる大きすぎると思われるので閉園が必要だと思います。 娘は幼稚園の場所も知らず隣の麻賀多様まで知っていても知らず、存在も知らず＝結果知らないの一言でした。 民間の幼稚園もあり例えば佐倉幼稚園でしたら、近くに城南幼稚園なりちょっと離れれば千成・慈光なり、保育園もあります。いろいろ大変な事とは思いますが税金とのバランス考えて下さい。あまりにも経つと入園希望のバランス悪いと思います。
実態が分からず(どこに幼稚園があるのか、運営組織、人員等全く不明)アンケートの趣旨に沿っていないと思っています。
こんなにも市立に通う子供が少ないとは驚いています。閉園は仕方ありません。税金の無駄使いです。私立に任せるべきです。

特別な支援を必要とする児童が増えているので、その子たちのペースで学べる幼稚園として（発達支援）検討いただけるといいと思います。
①公立の全廃には納得いかない。幼稚教育は本来、公が担う仕事であり少子化運営コストで考える問題ではない。少人数であっても残すべきだ。 ②特別な支援を必要とする幼児は原則として公立で面倒を見る必要がある。民間では負担が多くなり過ぎた場合会員受入れするはずがない。まずは採算を考える。
弱者に寄り添うと言うことで幼稚園を残す事になったが、その他大勢の利益（お金、運営コストがかかっている）にはなっていないと思います。 民間でも受け入れてくれるところがあるわけで・・・ 閉園して、その運営コストをもっと違う所に使用すべきだと思います。
我が子は1才児で保育園入園を希望している身です。 今回の件に関して佐倉幼稚園がほぼ入園希望者がいないとの事ですが、どうしても必要とする人が一人でもいらっしゃる場合は市としてふんばるべきではないでしょうか？もし、閉園がやむをえない場合、その敷地を活して保育園幼稚園の間（子ども園）なるものをつくってほしい。
時代にそった教育を、離島ではないので集団教育が望ましい。
少子化の現実はあるが、閉園は少子化に立向かう気がないことを市民に伝えることになる。
子ども達の将来を検討して、一定の集団での幼児教育の環境を設定する必要性大。 民間での幼児教育でそれぞれの特性有る方針を保護者に理解していただき閉園に向けた市政でよいと思います。
閉園する場合は対象の児童の受け入れ体制がきちんと整っている状態が必要です。 又、運営コストの分は変わりに幼児教育分野に当てる工夫も大切です。
幼稚園が閉園になった場合、運営コスト4年度8,800万円の費用の使われ方は？ いかされるのか？市民のひとりとしては、とても気になる所です。
公営の幼稚園を選択するご家庭は経済的な理由があると思われるので、やむを得ず閉園するのであれば、民間の幼稚園に入園するに支障がないよう適切な公的支援を考えて頂けるとありがたいです。
新聞で閉園計画を読んだ時驚いた。 何とか閉園せずに教育内容等勘案して維持出来たらと希望します。
市税を投入して運営するのであれば、民間の幼稚園にはない長所となるべき点が求められると思いますが、あらゆる点を考慮しても大きな利点となるべき要素が考えられない点が多いように感じられます。
今後も園児数の増加が期待できない現状を考えると閉園すべき
①園児数が一桁など僅かな利用者（施設）に対し、公共の資金を今後も投与するのは反対だ。 ②これまで市が支出してきた市立幼稚園の経費（令和4年8,800万円）を民間幼稚園に公平に補助配分して、民間幼稚園教育内容の向上と運営面への支援に当てればよいのでは？ ③教育委員会の閉園方針に対し、議会で賛否が拮抗していること自体に対し一市民として理解できない。
少子化が原因であり、市町村の力だけでは解決は難しい国策です。現状では、佐倉幼稚園を継続する事は税金の無駄遣いである。

閉園となる場合に際しては、「佐倉市立佐倉幼稚園のあり方に関する現状と課題」の設問5、支援が必要な幼児の対応に記載されている事項及び全幼児を対象とした県や市、関係機関のサポート体制が充実している事が必須と思います。
教員不足の中、定員、幼児数の望ましい人数等考え子ども園を勧めます。
運営コスト、市の負担が多すぎ！！ 保護者も多少なり負担すべきと思いますが・・・
今後も園児が増えていくことはないと思うので、少人数での集団生活よりも就学に備えてある程度の人数の中で生活できた方が良いと思う。佐倉幼稚園の場所を有効活用してほしい。（幼稚園としてではなく）
佐倉市、地区で協力して若い人が和田、弥富地区等に住む人が増える様にしていけたら・・・
民間とのコラボ等検討が必要では？ 学童保育場所としては？
佐倉幼稚園は閉園やむなしですが、通園エリアの子が少しはなれた園に通園しなくてはならないのであれば補助金を出すとか、対応出来るといいです。 幼稚園、老人施設は時代によって必要度が変わります。使わなくなった箱だけ残り朽ちていく無駄の無いように、どちらにも対応できるバリアフリーにしてフレキシブルに使っていくべきです。 「今、使わない」＝いらないではないので5年先、10年先を考えてプランニングして下さい。 税金を大切にしてほしい。
税金を使う以上、一部の方の主張のみにとらわれず、全体を見て判断、決断すべきです。
民間はどうしても営利事業なので、特別支援の受け入れ等、消極的になる懸念がある。 民間に対しても過不足のない支援補助が重要かと考える。 市としては効率上閉園ありきでは考えないで頂きたい。結果的に閉園賛成の答えをしたが、アンケートは閉園に誘導するような質問に感じた。もっと専門家の意見等を重視していただきたい。
何故、民間の幼稚園の方を選択しているのかを検証してみるべきと考えます。 佐倉幼稚園を選択したくなる環境を整えることはできないものではないでしょうか？
運営コストの見直しで市の財政が少しでも軽くなれば閉園という選択肢もなくなるのではないのでしょうか。
公立、私立問わず園児の確保に努力しており園の特徴を宣伝する必要があると思う。
長い歴史のある佐倉幼稚園なので閉園になればさみしいと思うが、現状を考えればしかたないのではないか。 現在の園児の親については十分に説明し、理解してもらう必要がある。説明不足から事が大きくなったのではないのでしょうか。
3年保育にし、最初の1年は有料、残りの2年を無償にして預かり保育などのサービスの充実などを含め維持できるよう検討して下さい。
議会審議で、賛成、反対が拮抗したとありますが、添付された現状と課題の資料では、いまひとつ読み取れません。具体的な内容が提示されていれば回答内容が変わったかも知れないという危惧を抱いてます。
堅苦しいアンケートではなく佐倉幼稚園に入園させたいような調査を若いお母さん方の意見を調査する事も一つの手段ではないかと思います。

出生率の低下による少子化対策の根本的な検討 (出産年齢層を佐倉市に呼び込むための予算等)
部屋は空いている所に老人の集まる場所にして、一日いくらかでお弁当等自分で作って持ってこられる人、自由に好きに過ごせる、又子供たちとも遊べる場所にとおもいますね。老人でも手のかからない人もいますので、他にお手伝いができる事もあると思います。インクルーシブ教育とはどんな教育？市役所に行っても横文字があつてわからない、日本語ならわかるのに。
賛成・反対が拮抗しているということは、入園を今後希望する人がいるということかと思ひます。費用面で大きな負担があると思ひますが存続させるべきと思ひます。ですが、幼稚園よりも保育園の方が需要があるため方針の転換も必要かと思ひます。
現状と課題に関するグラフを見た限りだと、閉園という選択はやむをえないと感じました。閉園に関して反対する方々の意見を聞いてみたいと思ひました。
佐倉は幼児教育が遅れている。保育の質、市民の考え方が田舎体質である。佐倉市民としては恥ずかしい。
設問7. インクルーシブ教育、 わかる意味でお願いします。
新聞折込の広報さくらでひろい読みしたくらいの知識と、同封の現状と課題を読んでの感想です。あまり深くは考えていませんでした。
前提として「アンケートに関するお願い」の②が理解できない。なるべく多くの意見を取り入れるべきではないか。と思う。個人的な意見ですが、賛成・反対が拮抗していたとしても現実として子育て世代の方々は幼稚園選んでいないので必要ないのではないかと考えます。その分、運営にかかる費用を別の形で子育てへの支援として使つて欲しい。正直、佐倉図書館の託児ルームはとても助かっているのだからそういうサービスが増えたら嬉しいです。
幼稚園としてはニーズが無いかもしれないが、不足している保育園に替へたらどうか？ 建物も似ているし園庭もあるし・・・ 場所も通いやすい所にあるし、閉じて全く違ふ建物にしてしまうのはもったいないと思う。
色々なニーズに対応するのは大変だと思ひますが、負担が保育士さんにかかつてしまうようであれば、更に存続も難しくなると思ひます。佐倉幼稚園にこだわる必要が疑問に思ひます。それぞれ、園の特性で選択する時代です。逆に残そうとする理由あるのでしょうか？
今後少子化が見込まれるが、子育て世帯の増加を狙うならば行政として率先して子どもたちの受け入れ体制を充実すべきだと思う。 この街で安心して養育できる、また環境として、魅力ある保育場所があるなら親たちはよりよい街として来るし定住すると思う。
少子高齢化、日本人口の減少等を考えると現状以上の結婚、出産、子育てを促進、支援することが必須であり、閉園後は上記の施策、実行の拠点として改変、改組されることが望ましいと考えます。
少子化は子育てが厳しい社会に大きな問題があると思ひます。共働きが当たり前になつても保育園が見つからず、退職せざるを得ない人も見てきました。二年制の幼稚園より0歳児から預けられる施設の充実をお願いしたいと思ひます。
資料の説明内容が不十分 経済的理由に重点をおいた記述のみで本質的な説明になっていない。教育委員会で議論されたのか不明。 インクルーシブ教育とはなにか？きちんと説明されていないなどアンケートとして不十分。

時代の変化により幼稚園の維持が難しくなっている。
・親御さんが子供さんを園などに預ける事由は、何れの親御さんも基本的には同じであり、園児数の多寡の問題では無いと思料されます。 ・佐倉市の子育て支援事業計画に於ける「支援の定義（範囲）」の詳細、「運営コストと支援基準」が明確になっていれば、それに基づき園の存廃をご判断されては如何でしょうか。 ・仮に廃園になった場合は、軽減される運営コストの一部を活用して、他の支援施策の充実にされては如何でしょうか。
市財政が悪化してゆく中で、市は幼稚園運営に拘わるべき（むしろ国保財政の安定化に全力を傾けて欲しい）ではない。昔と違い民営幼稚園の運営能力も格段に向上しているはず。但し、統一教会べったりの市長が奇妙な道路工事に執心したりの話を見ると、市の施策に疑いをもちたくなる。事務方での透明な業務遂行をくれぐれもお願いします。
我が子が幼児の時は、公立の幼稚園に通わせたかったが遠くしかなくて無理であった。今は無償化により、公立、私立のどちらでも負担なく通わせられるので閉園してもよいかと思う。コストが大きすぎ、その費用は他に回した方が市民としては嬉しい。
今の時代に子供が大事と言う事はわかりますが、お役所日の丸とはよく言ったものです。これだけの税金を使って民間ですと企業破産ですよ。私共は公立幼稚園のない船橋市で子供を育てましたので私立幼稚園、病院は有料、学費は親の責任とやって来ました。今は年金制度も年々変わってこんなはずじゃなかったと言う生活です。それでもできるだけ迷惑をかけないようにと仕事をして生活をしております。今の若い方達の言うコスパの時代に回りの方達も甘いのではないのでしょうか。
年々子供が減少している中、集団生活は大事。 私立幼稚園が沢山ある。
日本全体が縮小していくのは目に見えている。外国人を多く受け入れその子供たちが入国する様になる事くらいでしか維持出来ないと思う。人数があまりに少ないのは幼稚園ではないと思う。インクルーシブ教育の他に老人ホーム、他の公共施設も合わせて運営する事を考えても良いと思う。
通園しやすい方法やサービスを充実させること。
・少子高齢化、核家族が増える中、昭和の時代に戻るのも難しい。 ・対策施策が時代にあっていない。
全く知りませんでした。 できれば、現状を広報等で伝えて頂けたらと思います。
佐倉幼稚園のことを知らなかったので何か知るような機会があったら違っていたのかな？と思いました。設問7. にあったような、インクルーシブ教育に取り組むのは大事だと思います。
若者中心の働ける場所をもっと活発化させる努力を行う。
運営コストが過大すぎます。早めに閉園させて下さい。
子が成長し幼稚園の事は、むしろ現在無関心でしたが、今後は少子化に対する対応が必要で少子化、現象→閉園ではなく、公立幼稚園は残す方向で検討する方が良い。希望者がいる限り・・・と思うのですが・・・（PRとか）
子供たちの声が聞こえる街になってくれる事を望む。

民間の幼稚園での体制を強化し（必要なら市からの支援を含め）させ、公立幼稚園は廃止するのが良いと思う。体制強化とは、特別な支援が必要な幼児の受け入れ体制等。
民間委託やマンモス園の姉妹園として融通性のある方法はいかがでしょう。
私の子供2人は佐倉幼稚園に通っていました。その頃は人数が多く上の子は2年、下の子は抽選に外れ1年間でした。初めての集団生活で心配したのですが、迎えに行った私に今日あった事を楽しく話してくれる帰り道は今でもなつかしいです。 閉園は寂しいですが子供が減る現実の今私は仕方のない事と思っております。 （すみません勝手な感想で）
現在の場所ではなく、駅に直結するミレニアムセンターや空き店舗が多いレイクピア、ユーカリプラザの一部を預かり保育サービスを充実させ継続することはできないのでしょうか。
幼保連携型の認定こども園へ切り替えられないのでしょうか？？閉園させる方向に仕向けてるアンケートのように感じました。閉園の理由付けが欲しくてやっているようにしか感じられません。
私は閉園はやむを得ないと思っている。たくさん検討してきたと思うので（皆様）あえて選択しません
グラフのある様に、ここまで入園児が減少している事を知りませんでした。運営する側も大変でしょうがどうか努力し続けてほしいですね。
幼稚園の運営コストを少子化対策や幼児教育や特別な支援に使った方が良いと感じる。単なるコスト削減には反対。閉園する場合は8800万円をどのように使うのか明らかにしてほしい。
ごく一部の方の為に多額の税金を使うのはどうなのでしょう。お考えいただきたいと思います。
・幼稚園在籍数を増やすことにどのような対策がとられてきたのか？ ・対策を行ったのであれば、その対策に対する評価を行い、さらなる対策を考えるべき。（PDCAサイクルをまわす。） ・佐倉幼稚園の独自の取り組み、園児の育て方等をアピールするべき。
令和5年度の入園児が1名であるから閉園にするというのは、拙速かと思います。現に6年度の入園希望は6名に増えています。3年程度の検討期間は必要かと思います。佐倉市人口ビジョンについて詳しく知りたい。現市長は人口減対策も積極的に対応していきたいと抱負を述べています。対策が功を奏して増加に転じた場合の受け皿対策は。簡単に施設を増やしたり減らしたりできるのか。公立の施設は私立の施設へのパイロット的な役割も果たしているかと思います。閉園にすることは簡単ですが、必要に迫られ再開することは非常に困難です。文化、教育、研究などについては、時間を必要としますので、コストのみで安易に判断するべきではないかと思います。議会審議が拮抗しているのであれば、現状を詳しく市民に開示して、市民投票で市民の意見を確認してみたいはいかがでしょうか。その結果が全てではありませんので、資料として再度審議してみたいは。
設問4. 幼児教育の公費負担の現状から公立のメリットが薄れている。 設問7. 公的施設の範ちゅうより 少子化の現状は私立幼稚園にもダメージを与えています。大きな意見で統合的な判断に迫られると思います。
大人の都合だけではなく幼稚園生のことを考えると友達が出来なくかわいそう。
園の数がそのままだと、少人数で、園の維持費は変わらずで、それより、他の園の維持費にまわしたり、少なくなった分を回したり出きると思う。

18歳以上の市民対象アンケートだが、これは小さいお子さまがいる方を対象にやるべきだったと思います。（これから入園もしくは可能性がある方）もう入園するようなお子さまがいない人だと意味がない。障害があるお子さまが民間で受け入れがないような現状ならば存続すべき。園バスなど増えるのでは。
1. 老人の増加と人口減少に伴う少子化 2. 税収の減少に伴う負担の増加
公立0になった場合でも障がい者、他事情のある人への配慮、市からもお願いします。
税金を使うべき所をきちんと考えてほしい。 必要な所に使うために見極めてほしいです。
自分の子育て時代、駐車場の問題（障害者なので車での送迎が必須でしたが、近くにとめることはできないと言われた）で入園できませんでした。離れた駐車場まで歩ける親でないと、又は、徒歩内でないと通園できません。公立なのにおかしいと思いました。人件費やコストを考えても一部の方の意見で残すのはどうかと思います。それは平等ではありません。
少子化により、入園児の確保という面では難しいと思うが、他の園とは違った教育を検討するなどして存続して欲しい。例えば、保護猫や保護犬と一緒にいる事で、命の大切さや、優しさを教えるなど。（現実的ではないかもしれませんが、子供達にとってかけがえのない時間になるとおもいます。）
なぜ公立の幼稚園を選ぶのか。選ぶ人の考えを調査して欲しい。その理由により検討すべき課題が見えるのではないか？
1. 幼稚園は地域性が重要視され、余程の特徴が無い限り、遠くまで通わせようと思う方は少ないと思われる。 2. 公立幼稚園は今や、私立幼稚園と比べ、経済面、教育内容、受入れ条件等で特に有意なものは無く、これから充実を図る意義も無い時期に来ている。（少子化のため） 3. 私立幼稚園においても園児確保に四苦八苦している状況がみられるので、ここで市立幼稚園が公費を投じて園児獲得に向う必要はない。なお、市立希望者へのサポートはある期間必要と思います。
佐倉市内でも地域によって人口に偏りがあるのではないのでしょうか。我が家は夫婦2人ですが、子供を望んでいます。佐倉市には他市にあるような市で実施している支援がありません。市の中で子供を増やしていきたいという意向があるのであれば、現在かかっている費用を支援にまわし、幼稚園・保育園の運営は民間に任せていくのはいかがでしょうか。働きながら子育てをしていかなければならないご家庭が多いと思います。園は便利な場所にした方が良いと思います。（佐倉市は都心から距離がありますので…）
人口増加を目指し、魅力的な街の環境作り。 仮に閉園の場合、高齢者の憩いの場として利用しては？ 私立幼稚園と比べて何故人気が無いのか？検証すべき
設問4. ・運営コストも大きな問題だと思います。 ・現在はインクルーシブ教育も進んでいるんですね。 8. 少数ながら市立幼稚園を希望された方がおられたようですが、その方々の選択理由はどんなことだったのでしょうか。 私の子育ての時期から50年も過ぎていますが（茨城県でしたが）その頃とは違い経済負担は変わらず、カリキュラムでも同様であればむしろ多人数の中で幼少期を過ごす方が子供のためにはいいのではないかと思います。ただ一方的に決めるのではなく少数の方々と十分話し合い今後の方向を決めればと思います。

私立も人数が増えすぎて園庭がせまくなっています。児童を分散させる必要があると思います。公立が悪いとは言いませんが、私立の良さに負けている実態はあると思います。2年保育は時代にあっていないです。 子供を早く預けたい親は多いと思います。「2年保育の良さ」はあるかと思いますが、それをはっきりと証明できないのであれば2年保育にこだわることは無意味です。 閉園方針見直しを望む会の方はどんな理由でその考えなのでしょう。 私立の良さに共感できないのでしょうか。私立のサービスに満足できないのでしょうか。そちらも参考にしてみたらいいと思います。 運営を民間に譲渡するのが一番いい形かと思います。
公立の選択肢はあった方が良くないのでしょうか。教育は未来への投資だと思うのですが…。市の運営費のバランスを考えるべきだと。
現状と課題についてよく読ませて頂きました。その結果この判断をしました。
近頃では子供の数も3人くらいに増えているように見えます。 少しづつ増えていくのではないのでしょうか。 子供を持ちたい要求の環境の変化も必要ではないのでしょうか。
少子化が進むので、なるべく家庭に負担が少なくなれば良くなっていくのでは？と思います。
公立であるという安心感をもっとアピールしたほうが良いと思います。 また、働く母親が多いので時間によゆうを持たせてはどうでしょうか。
閉園した費用を障害者支援に活用を希望します。
子供の数が減っている中で入園希望者を集める努力をしてきたのでしょうか？ 公立だから・・・と努力をしてこなかった結果が入園希望者1名という現状ではないのでしょうか。 佐倉市に公立幼稚園がなくなるのは考えられない。
長い歴史の幼稚園がなくなるのは、寂しく感じます。民間幼稚園の取り組んでいる事はわかりますが、人数が少ないからと閉園はいかがかと思います。
民間でできることは民間にまかせれば良いと思う。 無理に公立として残す必要はない。
今後、少子化がすすむ中で民間でも対応できるならいい。税金がもったいない。
幼稚園の運営について少子化に影響されるのは理解できますが、働いている方々の努力に理解を示してあげたいですね。
幼児教育環境を考えるには民間の幼稚園だけでよいということになろう。 しかし、日本の総人口が約8,000万人になろうとしている等、国レベルでは色々議論されるよう（新聞記事により） 本来幼児教育などはどうあるべきか根本から考え直す必要があるかと考えます。 外国人がますます増えている。どう対処するのか。
市民のエールが巷でも広い、伸び伸び太陽が体に良いとか安心して絶対良い方向に
・無償化とはいえ、教育費、保育費以外の入園料、制服費、教材費等々、公立と私立の差はあるのではないのでしょうか？生活困窮対策を考えると必要かと思います。 ・親達の働き方によりニーズが変わってきています。3才～、預かり保育、送迎等、ニーズへの対応が必要かと思います。 ・公立幼稚園は幼児教育の規範とセフティーネットであって欲しいと思います。

来年度の入園予定者が6名では、集団生活でいろいろな体験、経験がかけていき本来の幼稚園の目的とは違ってくると思います。
働く親は幼児より乳児を預かってほしいと思っている方多いと聞いています。乳児も入園可になれば、利用者が多くなるのではないのでしょうか？
民間に丸投げするのではなく、公立の果たす役割、存在は重要。 もっと園での改革もそうですが、園児の募集等でももっと宣伝、アピールすべき。 民間は利益目的なので、また経営者の個人的な資質によるところが多く、悪いと影響が園全体に及びます。保母さんも公立の安定的な雇用に対し、民営は保母さんのやめる方も多いし、人でも足りないです。 また、障がい者（発達障害等も近年多いです）の受け入れ等でも公立の方が安心（何かあったら要求、お願いしやすい） 民間ではどうしても個人的になってします。 ここで廃園せず（採算のみで考えず）最後のとりでとしてでも残して存続してほしい。
閉める場合、周囲に十分な説明が必要 私立に十分な支援を行って下さい。
再開可能な体制であれば良いなと思います。
志津地区、特にユーカリが丘は幼稚園の数が少ない。従って、地区別に今後の就学前人口を細かく調査して民間、公立について考えた方がいいと思います。
人口減少及び子供（入園児分）の減少については、全国的な問題である。 本市については、幼児教育環境が基準を大幅に下回っている。又、市内幼稚園の定員に空きがあることから市民の税金をムダに使う必要はないと思います。 閉園反対（議員）する方の理由や今後の方針（どうしたいか）を広報に議員名を書き、公開してほしいです。 閉園による教員の勤務場所がなくなる事も考えられますが、民間ではこの不況で倒産で職がなくなる人々も大勢います。 新聞報道等の前に何故こういう形で市民にアンケートを取らなかったのでしょうか？
・子供が3人佐倉幼稚園を卒業しました。時代的には、母親がまだ働いている人が少なかった頃です。閉園は寂しいけど時代的に難しいと思います。 ・一番の原因は預かる時間が短い事ではないのでしょうか？私達の子供の頃は、子供を預けている間に働きたくても「それではいけない」と会社に断られた時代では？ ・今、孫はこども園という、保育園と幼稚園が合体した園に通っています。 佐倉市の幼稚園も系統を変更してそういう施設になったら残るのではないのでしょうか？ ・長くなりますが、園生活はとても楽しく毎日親の顔もお互いに見れるので母親同士の友情もあり、預けっこなどしておりとても充実していました。（先生方も大好きでした） ただ、世の中が豊かになるにつれ、働き手1人の収入ではとても得られない物であふれています。 私自身、パート→社員と生活のためにどんどん毎日が忙しくなりました。 使い道は子供の学費や習い事といったようなものです。 現状（今の時代）を考えますと、親が安心して子供を預けられる場所を提供する事が公立幼稚園の役目だと思います。 できれば違う道で生まれ変わってほしいです。 “とちの木さんとごあいさつ”の園歌懐かしいです。
民間の経営も大変と思いますが、現実運営している所をみると、公営と経営内容のどこが違うのか、今少し検討する必要があるのではないかと思います。

閉園はやむをえないと思いますが、施設と職員を活用して民間業者と長時間預けられる有料の預児所を開園してはどうか？親は安心して働けます。跡地をねらう業者や族議員の恫喝に屈しないように、更に豊かで安全安心で子育てができる佐倉市でありますように
このような状態の佐倉幼稚園を多額の税金を使用して維持していく事は、多くの市民の賛同は得られないのではないのでしょうか？佐倉市の税金の使い方に驚きました。もっと市民に現状を知ってもらいたいと思います。※所で佐倉幼稚園はどこにあるんですか？
世の推移と共に利用者の減少は止むを得ぬ事とは思いますがこれ程までとは知り得ませんでした。プリントから伺える事情である限りに於いては閉園を問うまでもない事と存じます。閉園については、以上の意見ですが、次世代を担う子供の手助けを十分にさせていただけることを切に願います。
インクルーシブ教育という言葉で設問に書かれても意味がわかりませんでした。無作為アンケートでの外国語を使用するのは辞めるか、日本語表記もしていただきたい。いちいち調べなくてはいけないとアンケートに答えたくなくなります。公立の幼稚園はできれば維持してほしいと思っています。現状運営コストが、これほどかかっているのかとビックリしているところです。私立幼稚園は自宅玄関から幼稚園までのようにバスの送迎付の様な手厚さ。公立では考えられないサービスがあるので人数が減っているのではないかと思います。税金ですので、できれば他の施設（介護）に資金をまわし、高齢者の介護、入所等にしていだけたらと思います。もしくは保育園等の施設充実に使用できたらと思います。
現状維持は難しいと思う。ただ公立幼稚園は1校は残すべきでもあると思う。年8800万円とは言え、不祥事が続いた佐倉市役所。子供の教育を捨ててまで財源を取りたいのであれば人件費、ボーナスを考え直すべき。大人中心の机上の空論でこれからの子供の為の施策とは思えません。形を変えて存続すべき（現状の閉園はやむをえないが）
幼児教育無償化といっても費用の全てが無料になるわけではなく、とりわけ私立幼稚園では保護者の負担が大きくなると思われる。物価高に加え、賃金も上がらない特に若い親の中には私立幼稚園では通わせられないと不安に思っている人もいるのではないか。子供の減少を仕方のないこととせず、子供を育てることに魅力ある佐倉市を造るために税金を使ってほしい。佐倉に子育て世代を転入させることを考えるべき。私自身、低所得で子供を私立には入れられなかったので、佐倉幼稚園にお世話になりましたので。高齢者支援も大事ですが、未来ある子供達のために何よりお金を使って下さい！！
理想と現実は違うと思いますが思ったことを書かせていただきます。幼稚園の運営にもコストがかかり経営が苦しくなっていく状況も現実として理解はできます。一方で日本の人口が少なくなっていく中で生まれてくる子供は国の宝でもあります。一番大事なはその子供が佐倉幼稚園に通える状況を大人がつくっていく方法を考えてあげる事とその子供の親の気持ちを大切にあげてほしいと思います。今後も佐倉幼稚園が存続する事を望みます。

(設問と重複するかとは思いますが。) 現時点で、1つのみ園を残しても市内でその園を利用できる家庭は、地理的なことを考えても限られてしまいます。 どうしても、保育園ではなく幼稚園を希望する家庭は公立に限ることなく送迎も含めた上で、私立の幼稚園を利用してもらってよいと思います。 園児がたとえ数人であろうと1つの園を維持するためには費用はかなりかかります。税金で運営されていることを考えればその資金をもっと有効に多くの市民に使うべきだと思います。 逆に園を残すとすれば、運営費、維持費を考えても残さなければならないと思います。果たして、その理由はあるのでしょうか。 一般市民にとって税金は大きな負担です。減税を望みますが、せめて税金は必要な所に無駄なく納得がいくように使ってほしいです。
入園希望が年々減少しているとのこと、理由を検討しているのでしょうか？ バスの送迎とか、育児内容の検討、時代に合った保育時間等。 今は両親がお仕事している家庭が多いので、朝早くから夜まで幼稚園よりも保育園が必要なのでは！ 私立の幼稚園だと延長保育も充実しているようなのでその点もすでにおこなわれているのか？！ 公立だといろいろ制約があるかもしれないが、せっかく広い場所と施設があるので子育て世代の人々に十分なアンケート調査をして何を求められているのか検討して大々的に改革したらどうでしょう。 たとえば、保育園クラス、幼稚園クラス、支援クラス、学童クラス、老人クラス等いろいろなクラスを合わせてもいいのではないのでしょうか。 閉園の前に是非検討してください。 無償化による公立、民間の差（費用負担）の解消、配慮を必要とする園児の受け入れの公民の差の解消などから、公立幼稚園の存在意義は薄れるかのしれないが、とはいえすべてを民間にしてみると、民間で対応できないケースなどがあった場合、公的責任で対応できなくなる可能性がある。コストが大事だが、公立はまたちがった尺度、価値観で存在しておく必要があると考える。 子育て支援、少子化対策（経済的支援など）を見直しても、少子化解消の見込みがなければ「少人数」に特化したシステム、体制にシフトすることにも注力していければ...
存続について1年間いろいろ試してみる。魅力を発信する。 入園者を広く募る等、頑張ってください。
私立だけでは対応困難な重度障がい幼児への対応も含め、広範囲なケースに適應できる仕組みづくりを希望します。
本当に困っている人のために税金を使うべきだと思います。 民間でどの位障害のあるお子さんを受け入れているか知りたいです。
閉園については賛成しますが、職員の雇用の保証と、施設の有効活用については努力して頂きたい。
昨年11月に越してきたばかりのため、正直に申し上げますと、佐倉幼稚園がどこにあるのか知りません。幼稚園の存続をきっかけに街づくりが活発化されることを希望します。
佐倉に移住して間もなく、当方老人ホームに入っています。 申し訳ありませんが、同封のデータしか知識がありませんので答えも充分ではなく申し訳ありません。

今回のアンケートを受け取り、特別支援を必要とするお子さんをお持ちの方（50代）に幼稚園、保育園のことをお話し伺いました。佐倉幼稚園の入園児は、他の幼稚園に通うことでデメリットを被るのか考えてみました。そのような事はないと考えます。 子供の数の減少、保護者の方の就労（父母）の増加・・・等を鑑みると、佐倉幼稚園の閉園はやむを得ないように思います。運営費をその分、保育園の充実、保育士さんの給与アップ、民間幼稚園での配慮が必要な子供の受け入れを増加し、質をあげていく等に市が力を注いで下さることを願います。 ※一方的閉園通知でなく、一旦立ち止まってこのようにアンケートなどを実施して説明をしていくことはとても大切だと思いました。 いろんな意見があるのは当然ですが、歩み寄って決めればよいと思います。また、時代によって変化していくものもあるので、幼稚園のあり方も時代に合わせて変えていく必要があると考えます。（変化もやむなし）
幼稚園では預けられる子供の年齢も限られている。公立保育園にしたり障害児デイサービス等にすることはできないものでしょうか？ 空き地にしてみても何年もそのままになるのは本当にもったいないと思います。
子供の教育において少人数であるのはあまりよくないと思います。 小学校に入ってから的事を考えると佐倉幼稚園を残す事にあまり意味を感じない。
20代、30代の働き方が違ってきます。 長時間預かっていただきたいと考えております。そのため、少人数しか集まらないと思います。
幼稚園は市で税金を使って運営する必要はない。民間にまかせれば十分。
運営コストなどから考えて、閉園はやむを得ないと思います。 ただ、保護者の説明後、三か月後の閉園というのはあまりにも乱暴すぎるように思います。 障害をもつ子などの親御さんが尚更だと思えます。 受け皿や今後の対応もきちんと考え不安のできるだけ少ない様対応を考えるべきだと思います。 今回の問題は、対応のまずさではないかと思えます。
①アメリカ生活15年経験しました。日本は7歳から小学校へ入学できますが5歳からアメリカは入学できます。そのへんの変化を取り入れてもいいと思います。 ②親の年収により入園できない事もおかしいと思う。民主主義に対しておかしい。皆平等でいい。 ③三人目からは無料と言っていることに対してこれからは広く門はあけないといけない。
普通の子供たちと同じように教育を受けられにくい子供たちの為に公立幼稚園は希望者がいる限り残していくべきかと思えます。
送迎はして居るのか？もしなければ始めては？
即刻閉園とすべし。一遲きに資する。 少人数では幼児教育の人との交わりが達成されない・・・形骸化している。 （ご指名に感謝）
身近に関わるような子供もいないため無責任なものになっているかも・・・すみません。
①立地を子供の数の多い地域に変更できないか？ ②特別な支援を必要とする子供に特化した園に出来ないのか？ 公立幼稚園の存在は必要だと思います。公立の果たせる役割は何か？皆充分考える必要があると思います。なぜ佐倉幼稚園が入園希望がすくないのか？充分に検討してほしいと思います。

設問6. 民間幼稚園は保育料は只だがそれ以外は高い。 設問8. 幼稚園の現状と課題を読みました。この資料では幼稚園が閉園になっても仕方ないと誰もが思うでしょう。閉園に向けての誘導資料です。アンケートとして求めるのならば、反対側のデータも入れるべきです。少子化による園児の減少によって私立と私立との園児の取り合いになり私立は利益が取れなければ私立幼稚園は撤退する。園児は何処へ行きますか？ 市として将来の公立幼稚園のあるべき姿をもう一度考え直すべきだと思います。 ※運営コストについて 人件費、運営コストは公務員なので異動先の部門に振られるので何も変わらないのでしょうか。資料だけ見るとザックリと減ってしまうと見る人も多いはずです。
何でも公立という考え方はそろそろ見直して、民間で十分対応可能であればそうすべき時代と思う。
若い人の中には公立幼稚園に魅力を感じて、佐倉市に居を構えた一因と伺いました。 歴史のある幼稚園とその内容等知らせていくことが大切ではないでしょうか。募集など工夫も必要です。アンケートに選ばれてよかったです。資料を見ると廃園ありきとも感じとれました。
不登校の子供たちなどの行き場として、施設をリニューアルしてはいかでしょうか。 うちは卒園児ではありませんが、母校が子供に関する場所として残ってくれていれば卒園児も喜ぶはずです。
当該地区が子供が住みにくくなるのは寂しく思うものの、運営費が8800万は高いと思いました。部分的に継続して大幅コストダウンするなり、廃校した場所を別のイベント施設(他県でよくあるグランピング施設など)として収益を上げるなどし、コストダウンの目処がたつなら継続してもいいのではと思いました。
私立幼稚園への入園に際し、市からの色々な支援がある。
公立であるから、幼稚園の配置、近隣市民の意見等を考慮して決定すべきと考えます。
今働いて保育園希望する人が増えてるから、たった6人じゃ他に行ってもらって閉園した方がいい。税金の無駄遣い
いつもお世話になります。特別支援を要するにお子さんもいるかと思います。公立校ならではのきめ細かい指導を期待しています。 また、幼小一体の支援が可能かと思います。
定員210名に対して入園する園児が過少で、運営コストが高すぎる。公的な幼稚園が必要なのであれば、ニーズに応じて規模を縮小した幼稚園が良いのではないか。
高齢者が多い地域で出生率も見込めないので不要 維持するなら出生率をあげることも考えなければならない
公立幼稚園を取り巻く環境を考慮すれば 旧来の公立、私立といった考えに固執することなく 子供達の成長につながる環境を作ってあげることが社会の使命だと思う。設問6の 公立だから から始まる理由は いずれも存続を正当化する根拠に乏しく 私立幼稚園に対する適切な支援策（例えば公立幼稚園の運営費用の一部転用等）補完措置を講じることで 十分に解決できると思われ 子供の事を考慮すれば公立幼稚園の存続ありきとはならないと思う。
幼稚園として存続が難しくなった場合、他の子育て支援的な施設としたり、今の施設を利用し老人施設等にシフトしていくのが良いと思う。
少子化の影響も有り、やむを得ない。 8000万円超のコストがかかっているのであれば その分のコストを近隣の私立幼稚園等の支援や子供の支援に廻して欲しい。

どのような理由で閉園を反対しているのか理由がわからない。結果として維持することになった様ですが維持する人の意見も聞かないと片手おちです

4、5歳のみを対象としている限り閉園はやむを得ないと思う。
0-3歳に対しても、市内の保育園と同じように一時保育や支援を提供していけるのであれば、まだ存続もありえるのでは。
有償での一時保育、もしくはゆめさくら館で行われている無償での保育を取り入れ、建物と土地の有効活用をするべき。それが難しいのであれば取り壊して別の施設を作った方が良い。
前段階として、園庭開放を月曜のみでなく月～金で行えば良いと思う。
保護者同伴でも1週間捌けないのならやはり存続は難しい。体育館は広いし設備もしっかりしているのだから、もっと広い対象に開放してほしい。
1番のネックは駐車場が市体と併用で遠いこと。雨の日に歩けない子を連れてあの距離に行くのは難しい。
雨の日は先に子供降ろして良い(先生が門で受け取って校内まで連れて行ってくれる)等の配慮が、少なくとも乳幼児を相手にするなら必要だと思う。

私は私立に比べて教育理念等が市立は低い様なイメージがあり子供達は私立に入園させました。教育理念以外にも全てにおいて意識が私立より低くただ時間内預かっている印象でした。今の親御さんは園に求めていることも多いかと思います。よりきめ細かい教育をし尚且つ預かり保育の充実もしてその中で市立でしかできない特徴を活かして存続してもらいたいです。

1人のために運営するのは問題だと思う。この先も少子化が進むし、施設の老朽化も目立つし、新しい私立園に入れようとする親の気持ちも理解できる。私立園を援助をする方が良いと思う。

3つ閉園になった中での佐倉幼稚園があるので、残ってほしい気持ちはあるが、人数が伴わなければ閉園も仕方がないのかなと感じました。

無償化に伴い国からの運営補助はないのですか？

幼稚園やこども園での幼児教育が無償化された現在では、公立の幼稚園の役目は終えたと考えます。少人数の園児を受け入れるにではあまりにもコストが掛かり過ぎます。その分義務教育である公立の小中学校に回していただきたいです。

卒業生からしたら複雑な気分にはなりますが、少子高齢化が進んでいる状態では仕方ないと思います。
中央の木の手入れはお願いしたいです。

閉園は致し方ないと思います。
地域のニーズを丁寧に把握した上でこの財源を有効に活用し、子供たちの教育を充実したものにしてほしいと思います。

うちの家は保育園を利用しているので、幼稚園のことはあまりわからないが、入園人数があまりにも少ないと思う。
存続するなら積極的に募集するべき。
少人数教育は良いと思うが、幼稚園の規模がそもそも、大人数向けなのならば、その敷地に見合う人数で運営していかないといけないと思う。
少人数教育をしたいのならば、それに見合う場所で新たに開設するなど、工夫すべき。
二年生の幼稚園を選択する人がほぼいない。

この幼稚園に通わせたい親と通っている子ども達がどうしてこの幼稚園を必要としているのか。民間の幼稚園では対応してくれない、受け皿がないと断られたからではないでしょうか。 ハンデのあるお子さんであれば、その一人一人を市役所が責任を持って民間の幼稚園に入園し、民間の幼稚園に入った子が順応できない場合も相談や対応ができるようにすればいいのではないのでしょうか。
施設自体はもったいないと思うので、保育園が不足しているのなら保育園、こども園を増やしてはどうかと思った。
幼児の人数は少なくとも、やらねばならないカリキュラムや内容は変わらず、事務処理等など必要な内容も、大変さは変わらないと思います。 児童の人数によって職員数も割り当てられていると思いますので、職員の1人あたりの負担が多いのではないかなと考えます。 運営コストなど財政に関しては、子どもに充てる予算は必要不可欠であり、それは仕方ないと思います。コストがかかるから閉園というような考えではありません。
佐倉幼稚園のあり方に関する事ではありませんが、幼稚園に園児が少ないと旨が記載されていましたが、保育園にはおそらく待機児童が少なくない数いると思います。 佐倉幼稚園の運営コスト約8800万円を削減することが可能なのであれば、その分の予算を保育園の待機児童が1人でも少なくなる施策に使っていただきたと思います。
佐倉市に転入してきて1年半くらいです。 「佐倉幼稚園のあり方に関する現状と課題」を読んで初めてこのような現状を認識しました。 閉園もやむを得ないと考えますが、5ページから6ページの内容については、若干の偏りを感じました。 議会において、どのような内容で賛成反対があったのかを記載していただけると、より判断し易くなったかもしれません。
しかたのないことだと思う。 幼稚園に思い出思い出入れがある方の気持ちも分かるので、建物や環境をできるだけそのまま維持して、地域の為に別の形で役立ててあげれば、そこに幼稚園があった事はみな忘れないと思う。
幼稚園に対するニーズがないのであれば閉園は致し方ない。閉園しないのであれば市立としての独自性と潜在ニーズを取り組む必要があると考える
教育方針の特化（スポーツ、外国語教育、パソコン）
3年保育にすれば人数が増えるような気がします。 確かに少子化の問題はありますが、幼稚園のあり方が、時代のニーズからズレているのではないのでしょうか。
仕事してるママ達が増えてる中 預かってくれる時間が 短過ぎるし、預けにくい
数人のために血税を使う必要があるのか。民間の機関に通えばよろしい。
近隣の施設に通える良さというのは、代え難い。少子化は問題だが、閉鎖すると再開が大変。
私の知人の息子さんは、食物アレルギーでした。 公立の幼稚園だからこそ、手厚い支援をしていただけたと感謝していました。 希少な色んな社会的支援が必要な子供を教育できるのは公立だからこそです。 無くさないで下さい

少子化という問題は十分理解しておりますが、障がいがある児童は増えております。そういった点で専門的な教育を行ってもらいたいという願いがあります。また、なんでも民間ではなくむしろ公立だからできることは多いと思っています。隣の四街道市は市民が増えていると聞きます。そういった面でも、園児が減少しているから、費用が掛かるからとマイナス面だけ捉えるのではなく、プラスに変えていく思考や運営、リーダーシップが必要だと考えます。どうか今一度、本質を見つめみんなで考えていける仕組みを構築していただきたいと思います。
保育料が無償化されており、同水準かそれ以上の教育環境にある民間幼稚園が多数あるため、維持費等のデメリットが維持するメリットを大きく上回ると考えます。
他の保育施設があり赤字で運営は税金の無駄。即刻閉園すべき。
少子化、サービス時間、政府の言う子育て支援とは。。。市の財政も大変。。。。
設問4にて「1. 閉園はやむをえないと思う」と回答しましたので、設問6および設問7の回答を控えさせていただきます。 なお、貴教育委員会が作成した「佐倉市立佐倉幼稚園のあり方に関する現状と課題」にも記述の通り、 【1. 園児数の減少】【2. 幼児教育環境】【3. 市内幼稚園等の状況】【4. 運営コスト】および【支援が必要な幼児の対応】の記述内容は、明らかに貴教育委員会として、当該幼稚園の存続を明らかに否定しているものと思料いたします。 にも関わらず、議会にて当該幼稚園を存続させることになったことに対して、何らかの圧力や忖度があったのではないかと思います。 従いまして、「教育委員会では閉園に関する方針を定め、議会で審議されましたが、賛成、反対が拮抗し、結果として、佐倉幼稚園は維持することとなりました。」に関し、それに至る議員の発言について開示を求めます。 P. S. 当該幼稚園の運営コスト（年間8,800万円）が、市民の税金で費やされていることを知れば、当該幼稚園の存続はあり得ないものと思料します。
仕事をしながら子育てをしている方はたくさんいます。民間の幼稚園しかなければ、高額な費用を払って子育てしなければなりません。少子化は子育てをする環境の不足が大きな課題になっているからです。女性が子供を産める環境、そのために公立の幼稚園は必要です。佐倉市になぜ子育てをする家族が転居してこないのか？幼稚園を無くす前に、その課題を解決するべきだと思います。
幼稚園ではなく保育園に変更する。 もしくは、大栄みらい学園のように学区内の小学校、中学校を小中一貫にして、そこに佐倉幼稚園も含めたら利用者も増えるのではないのでしょうか。
佐倉幼稚園はレベルの高い教育の下、優れた教育を実施してきた。 我が家の3人の子供達は佐倉幼稚園を卒園して大学や大学院に進学して社会人として活躍している。 その内1人は芸術の道にも進んだ。 個性を伸ばしてくれた佐倉幼稚園の教育に感謝する。 営利目的ではない教育は必要。 これからの存続も強く求めます。
我が家は住んでいる地域的に私立しか選択肢がなかったので、市立の幼稚園には詳しくありません。ただ在籍数を見ると主にコストの面で閉園もやむを得ないと思います。

まず、今回のアンケートで示されている資料に限られており、選択肢も資料の内容に沿って限定されたものとなっているので、非常に答えにくく、佐倉市の意図する方向に限られたものと感じる。一番は、佐倉市が、市が運営する幼稚園として佐倉幼稚園を維持し、継続運営する覚悟と信念がなければ存続は不可能であると考えます。

我が家は保育園と幼稚園の2つを経験しているが、昨今共働き世帯が増えたことにより、保育園ニーズが高まっている中、保育園でも幼児教育を提供する状況にあり、かつ、私立幼稚園は、生き残りをかけて保育園に似た環境を提供したり、独自の特徴を持つ幼稚園が増えている。この2つの環境に子どもがお世話になり、本当にありがたかった。

佐倉幼稚園の特徴が何であるかあまりわからないが、周辺地区以外からも通わせたいと思わせる魅力があるのか、もし維持することになった場合、佐倉市がどういう子どもを育てたいか、そのためにどういう特徴の幼稚園にするのか、大事なものはその理念だと思う。

入園児の減少や無償化に伴うコスト面云々もあるかもしれないが、佐倉市が改革をする覚悟がなければ園児は増えないだろうし、維持は難しいと思う。

閉園について賛否が拮抗したとあるが、閉園に反対した人たちの理由も示されておらず、送られてきた資料を読むと、佐倉市の閉園希望が強く伝わり、内容もそれに偏ったものなので、存続か否かを決定する上で参考にするものとしては不十分な内容だと思う。

市に幼稚園改革をする信念があれば、ぜひとも存続には賛成であるが、それが無いのであればその分のコストを小中学校の義務教育の環境整備に充てていただきたい。

佐倉市の教育理念がしっかり伝わる決定内容となることを期待している。

特に疑問に思うのは3園全ての閉園でした(差し当たり佐倉幼稚園は存続ということですが)。筆者は現状子供を抱えていませんが、障害を抱える幼児等、民間に存在する一般的なサービスを受けられることが比較的難しい状況にある方々に向けて、財政的に割に合わないとしてもせめて1園でも公的な運営でそういった方々に報われる環境が賄われることを維持すべきではないかと考えます。

子供が減るなら、幼稚園保育園のあり方を変えるしかないと思います。高校もクラスを減らしたり、大学自体も減ったりしてる中で、佐倉幼稚園がなくなるのは自然なことだと思います。

我が子の頃は行きたい幼稚園がたまたま近所で、近所の幼稚園に行くのが効率良いし、佐倉幼稚園がなくなったとしても、ある中で選ぶと思います。

1. SDGsの「誰一人取り残さない」「最も遅れているところに第一に手を伸ばす」という原則には注意が必要だと考える。レベルを最も遅れていることに合わせるのではなく、そのために、2,3が重要になってくる。
2. 一人ひとりに合った合理的配慮は必要である。
3. 専門性のある教育支援員（特別支援教育支援員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど）の配置は必要である。

閉園への動きが遅い。民間企業であればもう既に撤収している。運営コストは市民が収めた税金で賄われているはず。小学生や中学生でもわかるこんな無駄使いを是正しようとしているのに、閉園に反対する議員（市民が投票して当選した）から一人ずつ、その理由と根拠、そしてそこに向けた具体的活動を是非とも逆にお尋ねしたい。

幼児が少なくなり、民間でも運営が難しい事、園児の送迎が負担であると思います。

送付された、資料を拝見しましたが、園児減少に対策する必要があると思います。他の市町村などでは、子育て支援に力を入れていて住民を増やそうとしているが佐倉市は、そのような努力が全くみられない。例え支援に力を入れていても市民には全く情報が届いていない。今回の佐倉幼稚園の件も入園児が数名の希望者が居ないのにも関わらず、人件費等のコストが8800万とのことでそれならもっと早くに閉園をしその浮いたお金を市民に還元するようにするべきと考える。佐倉幼稚園の場所も不便な場所にあり、特定の市民にしか利用が難しい。朝夕方と佐倉幼稚園の方に行こうとしても毎日ベイシア付近がものすごく渋滞をしているので、渋滞緩和(信号機の連動)の対策をしていただきたい。

佐倉市として市立幼稚園を存続したいのならば、市民が行きやすい立地に立てるなど対策が必要と考えます。

この運営者に是非聞きたい。 公立佐倉幼稚園の魅力はなんですか？ 公立は費用的には利用しやすい金額かと思います。ですが、それを維持するために市が負担しすぎるのはおかしい。 ある程度自立して、少しの支援が望ましい。 また、園の魅力がなければ、維持しても人は集まらないと思います。 ファミリー家族に優しい市になれば、税収も増え、園に魅力があれば、通いたいと良い方は多いと思います。 費用以外の園の魅力を見直しが優先課題かと思います。
子どもは集団生活の経験が必要。
少子高齢化の社会において、公立幼稚園の経営は市政としても大変だと思うが、でもやはり公立の教育施設があるかどうかは、これから転居してくる人にとって住みたい地域であるか、選択肢の1つになりうるし、また現在市民としてこのまま佐倉市に住みたいと思うか、他の地域に人口流出を防ぐ意味でも、市として選ばれる努力は最後まですべきだと思う。 令和2年以降、佐倉幼稚園在籍数がかなり減少しているが、日本の経済状況や、コロナ流行による子供の産み控えもあると思うので、もう数年様子をみても良いのではないかなと思う。
入園希望者の理由を知った上でアンケートに答えたかった。 預かり保育時間や金銭的な理由であれば、それを個別に補助する制度を設けたほうが、運営維持費より大幅に抑えられる。
資料から施設の維持管理が難しいのは理解できました。 同封資料には廃止を避けたい側の意見が少なく感じました。 公立と私立が現行の「同じ土俵」ではなく「棲み分け」し互いの必要性を高めていただきたいです。私立では受け入れられにくい少数派への対応を公立に期待します。 小児医療機関との連携や利用時間の延長など地域で子育てを応援したいです。 一方で、既存の幼稚園の所在地が農村地域なのは設立当時の時代背景と推測します。 現行の人口増加率に合わせた地域に移転（西志津・ユーカリ地区等）は難しいのでしょうか。 設営に関して、住宅街だけでなく駅周辺や大型施設内などは条件が合わないのでしょうか。 他の地域との違いが佐倉市のアピールポイントになり、将来は「インクルーシブ教育」が普通の事になってほしいです。
集団生活を習得するのに佐倉幼稚園の規模人数では、集団生活を学ぶ事に不安がある。 ある程度のクラス人数の中で、集団生活を学ぶ事は幼児期に必要なと思う。 民間幼稚園でも定員に空きがある状況の中で、佐倉幼稚園継続させて、運営コスト負担が大きい。 小学校に入り多数の子供と接して行く為にも ある程度の人数の中で幼児期を過ごして行くのが、良いと思う。
バスを運営するなど、最低でも民間と条件を同じにする。 その上で出来るならば佐倉幼稚園独自の教育を掲げる。
民間幼稚園及び幼稚園児に補助金を支給する
開園時間を延長し、両親が働きながらも預けられる環境を構築する事。 民間のような送迎バスなど実施し、広い範囲から園児が通える環境の構築(送迎費用は少なからず保護者も負担)

和田幼稚園が閉園した際に、少人数での教室にメリットを感じて和田幼稚園を選んでいただいていた方が非常に残念に感じていたのを見ていたので、少人数ならではのきめ細やかな教育に適していて安心して通うことができる園児もいるのだと感じた。

入園数1名という数字は非常に驚いたし、今後このような数字が続いていくと運営が厳しいことも理解している。一方で園児獲得の競争が激化する中で、豊富な資金や土地を活かし有機食材を使った給食や充実した設備アピールしている私立の幼稚園があるという話も聞く。全ての幼稚園が無償化されればそちらに園児が集まるのは当然のことだと思う。援助はあって良いと思うがそのような幼稚園も等しく無償化されれば、皆同じ権利がある中で設備や体験、教育に格差が生まれてしまうと思う。全ての幼稚園が無償化されるならばそのような格差がないこと、園の資金の差で設備等に差が出る場合は私立幼稚園は有償にすることを望む。何から何まで無償化する必要性はないと思うし、公立の幼稚園で質の高い教育や体験ができることが多くの家族にとって良いのではないかと考える。

国や県、市町村それぞれの立場で施策が考えられ決定していくので市でできることに限界があるのも理解しているが、質の良い教育を受けられる幼稚園、学校の実現とそれらに意味を見出して通うことができる子供が増えるよう今後もこの問題に注視していきたい。

0,1歳児から保育園に預けていると幼稚園へ行く選択肢がなくなる(転園は手間である、環境を変えたくない)人が多いのではと感じた

一方、預ける側の選択肢も多いと市の教育への姿勢へ安心感がある

どちらかという維持してほしいと思うが、今回の資料では全体の予算に対する割合が不明なため、削減した予算をより良い子育て支援に繋げられる目処があるならそのような選択肢も考えられると思う

園児のうちから集団の中にいて

学んでいくものは多い

運営コストも問題だと思うが

閉園すると通園の問題や特別な支援を要する幼児の対応をどうするか等、ほんとに難しい問題で早急結論は出せない。幅広い意見を聞く必要がある

入園児の人数が減ったからと安易に閉園するのではなく、何時でも入園できる状態で休園とし特別な支援がひつような育児へのサポートの場として施設を開放するなど活用するべき。

八千代市に住んでいた時、言葉の発達相談で休園していた幼稚園へ子供を連れて通った経緯があります。

佐倉幼稚園の要否を検討するにあたり必要な情報の提供が不十分です。なぜ佐倉幼稚園が選ばれないのか分析しその対策が市でできるのか、できないのであればその理由を提示していただかないと判断ができません。2年保育であることが園児減少の要因であると推察するがそれに対する対応状況が資料からはわかりません。廃止した場合の運営コストの使い道についても判断する上での重要な要件です。また、資料中のグラフの縦軸が0から始まっていないため先入観を与えやすい不正確な資料といえます。正確な意見が収集できるように十分に検討を重ね、専門的な知識、調査スキルを有する人、機関が調査を実施すべきと感じます。

私の子供は成人しており、現役の親御さんではありませんので、切迫した状態ではなく、市の経営的立場から判断すると、赤字経営と感じます。とは言え、預ける所が無いと、お困りの事も理解出来ませんが、市の財政的側面を見て、この状態が続ける事が出来るか？を考え英断を願います。

閉園することは簡単だと思います。働き手不足や賃金格差など様々な問題もあります。現状、子供を育てるとなるとかなりのお金がかかることから、少子化になっています。佐倉市で子供を育てやすい環境を作っていくことが優先してすべきことであり、閉園は次の問題だと思います。もっと子育て支援を整備して、脱少子化を目指すべきです。また、生まれながらに障害や適応能力が乏しい子も沢山いますので、閉園するのではなくそういった子供達をもっと支援してはどうでしょうか。民間は基本的に健常者ありきの体制となっており、適応障害などには特化していません。親御さんも安心して預けられる場所があれば、安心して働けひとり親世帯でも助かると思います。障害があればそれだけお金もかかります。支援も多少あるとは思いますが、手続きが面倒なシステムになっていたり、周知されていないと思います。つたない文章ですが、宜しくお願いします。

現実には、人数が少ないのであれば運営費用もかかってくるので閉園もやむを得ないと思う。また、待機児童が多いのも事実なので、認定こども園などになって、未就学児も受け入れが可能となれば人数も増えるのではないのかとも思う。しかし、佐倉市での幼児児童の数が、今後減少傾向にあるのならば、閉園もやむを得ないと感じた。佐倉市で生まれ育ったので閉園してしまうのは悲しいが。

公立と私立の違いはなんでしょう？良い所悪い所色々あると思いますが何故入園希望者がそんなに少ないのでしょうか？他の私立幼稚園も同じ位少ないのか？子供がいる以上公立保育のニーズも少なからずあると思います。園児数が減少する中でニーズに応えられるなら入園希望者数増と言う形で現れて来るとは思いますが市としてそこまでやれるのかやらないのかだと思います。住民アンケートもどういった保育を親が求めているのか、幼稚園(保育園)を決める際の物差しは何なのかのアンケートをしてそれを市の財政で実現出来るのか出来ないのかを聞いた方が良いと思いました。

誰のための幼稚園なんでしょう。
何のための幼児教育なんでしょう。
佐倉幼稚園が継続すると利益を得る人でもいるのでしょうか。

幼稚園保育園は初めて集団生活、集団行動、同年代の他人と関わりが持てる場所だと思っているので、1人で大人達に関わってもらい過ごすのでは意味がないと思います

自分の子供の入園時は通園する可能性はなかったので、市の幼稚園に興味がありませんでした。閉園と聞いたときは急なことだったので、閉園に至った理由まで周知されていませんでした。まさかここまで入園する子供が少ないとは思ってもいなかったもので、今回の閉園は仕方がないと思います。反対されていた方はそれを承知で反対されていたのでしょうか？現実的に市の幼稚園として活動していくには難しい人数だと思います。

今の時代、働いていない人が少ない中未だに2年保育をしているということに驚きです。民間を含め色々な市は少しずつ3歳児から受け入れを始めているので、入園を希望する人が少なくなるのは当然だと思います。閉園するのは仕方ないことだとは思いますが、該当地域ではないので簡単に閉園と言えるところはあります。通わせている保護者の身になれば今から閉園にされてもと言った声や、家から遠くなるなどの懸念点はたくさんあるでしょう。民間がやっているのと同じように3歳児から受け入れられる体制を整えて行こうとしたり、希望者増えるようにするといった政策などは何をしたのでしょくか？運営コストが他のことに使われるのであれば大賛成です。医療費受給の対象年齢を上げたり、第二子以降の保育料無償化。第二子の計算方法を小学生に上がったなら第二子じゃなくなるなどしなくても良い政策にしてほしいです。今のままでは子ども数は減少すると分かっているのに他の所から佐倉市に来てもらえるような政策はなく、子育てしている身からすると他の市に行きたくなくなる気持ちはわかります。もっと子育てする家族に寄り添って、子育て世帯が増えるような政策をたくさんして佐倉市の子ども数を増やすなどしたらどうでしょうか？

自身の子どもが市内のこども園に通園していますが、そこでも障害のあるお子さんを受け入れています。市立佐倉幼稚園を存続するのであれば、その分の予算で民間のこども園や幼稚園、保育園に保育士さんや支援員さんなどを増やしていただいたほうが、障害のある方、ない方どちらにも良い結果になるのではと考えます。
人口減少、少子化が進んでいても街づくりや子育て支援を積極的に取り組み人口を流入させることで市の人口を増やしている地域はたくさんあります。 資料（グラフB、グラフC）の園児人口のデータには少子化が進んでいるため今後も園児の増加は期待し難いと書いてありました。市が少子化のせいにして子育て世帯の人口を流入を図る取り組みを特にやる気がないのであれば今後も子どもが増えることはないのでは佐倉幼稚園の廃園はやむをえないのではないのでしょうか？
公衆衛生と教育への投資は将来役に立つかと思います。
運営費の厳しさはあるだろうが、根本の問題は通っている人、卒園した人、先生方がわかるはずなので、市民に聞かれたところでは、「費用かかるから閉めたらいいんじゃない？」で纏まるかと思う。 他の市区町村と同じで小人化＝閉園ではなく、通いたいと思う人がいる限り子供達のためにどうしたら存続できるか、で考えることを希望する。 市民ともっと関わるイベントを行う、佐倉の歴史を学ぶのに強いなどの特色を強く出すなど努力してみたい。 大学との連携なども良いのでは。
少子高齢化の世の中で地域の過疎化は仕方がないことかと思われます。入園する子供の数が少ないのは幼稚園としての意義を問われかねない事であり、運営コストなどの問題点から閉園することもどちらかと言うとやむを得ないことなのかもしれません。 しかし子供達の事を考えると幼稚園はできる限りあった方がいいと考えます。子供達の社会性を養う場として幼稚園の存在は必要なものです。
少人数の為に、存続させるのではなく、民間におまかせしても良いのではないのでしょうか。その分の予算を、他の幼稚園にまわした方が良いです。バスの本数を増やすなど。
入園希望者数は少ないかもしれないが、いる限りは需要はあると思う。ただし少なすぎると同世代での集団生活という環境にはならないため、工夫が必要。また、運営するに当たっては入園希望者数が増えるようなアピールをしたり、運営方法の検討は必要なのではないかと思う。
説明書に記載された現状が正しいと前提を置くと、公立で行わなくても民間の施設で充分サービスの提供が可能と思われます。公立でしか出来ないどうしても必要な幼稚園サービスがあれば別ですが、そうでなければ民間のサービスに任せることで良い筈です。その分経費軽減も出来ると思いますので、本当に必要な別のサービス、例えば生活支援とか、に回してはどうですか。 閉園の場合には勤務者への再就職支援は確実に行って下さい。
そもそももっと佐倉市に子育て家族が引越して来なくなるような、分譲エリアを作り販売したり、子育て支援を充実して、子どもが増えるよう工夫することが必要だと思う。 周りの市と比べてはいけませんが、公園は古く廃れているところが多いし、きれいな施設や公園が少なすぎる。 安心して子育てできる環境、公園や施設の充実にコストをまわしてほしい。 佐倉市に好きで来たわけではないので、周りの市が羨ましすぎます。
ニーズがほとんど無い所にコストをかけるのは良くない。本当に必要なこと、例えば保育園を拡充したり育児に関わる補助に予算を使った方が良いのでは。

5年前に孫が佐倉幼稚園でお世話になった者です。孫は自閉症児であり自宅周辺の幼稚園等では入園先が見つからず家族は途方に暮れていました。そんな中、遠方ではありましたが、佐倉幼稚園は唯一受け入れてくれたのです。 佐倉幼稚園では、毎朝園児の名前を言って出迎えてくれた園長先生はじめ、どの先生も園児に寄り添ってくれる素晴らしい方ばかりでした。また園児の皆さん、その親御さんもあたたかい方ばかりで何度も心が救われました。おそらく孫にとっては、最初で最後であろう健常児の皆さんとの貴重な2年間を経験させてあげることができ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。 このような障害を持っていても、健常児の皆さんと平等に幼児教育を受けられる機会を奪うことは絶対に避けなければなりません。インクルーシブ教育の土壌ができている佐倉幼稚園を大切にしたい、我々障害児を持った家族の切なる願いです。 ※幼児教育と保育の無償化が決まった段階で、金銭的に高い私立への流出は予測できたはずですが。そうならないためにも、公立の良さ、教育内容の充実等についての佐倉市民への周知が足らなかったのではないのでしょうか。非常に残念でなりません。
支援の必要なお子さんには園よりも窓口を設けて個別で細かく対応できると良いと思う。子育ては経済的にも大変なので、幼稚園より保育時間の長い保育園や、病児保育の方が需要があるのでは。安心して子供を預けられたら、働ける人も増えると思うので、施設、人員、予算を求められるところに使って欲しい。自身の時にも頼れる所が少なく、大変だったので、子育て世帯に公的支援が不公平感なしに届いたら嬉しい。
幼稚園という形式ではなく、預かり保育専門のサービスに切り替えた方が佐倉市民全域の親御さんを対象にできる。
佐倉幼稚園閉園により不要となる運営コストについては、教育関連予算に充てること
難しい問題ですが、どのような結果のなろうとも、佐倉市民がより良い生活が送れることを願います。
閉園はやむをえないと考えるが、教育の無償化は永続的なものであるかは注視する必要がある。
このニュースを知ったとき、時代に逆行してるなと思い閉園に反対しました。しかしこれほどまでに、入園児が減っていることを知り閉園もやむを得ないと思います。閉園に反対意見の中に歴史があるからという理由を上げている方がいますが、それには賛同しかねます。 閉園反対の署名活動もしていたみたいですが、詳細を知っての署名だったのか疑問です。今後の施設の有効活用も含め、市民に現状を広く伝えることが必要だと思われます。
利用者数から佐倉幼稚園の必要性が薄れていることが明らかであり、幼児の受け入れは民間施設で十分に対応できている。その中で多額の運営コストが佐倉市負担によって賄われているのであれば、市の財政に対しての影響も鑑みて閉園やむなしと判断しました。
希望者が少ないのであれば継続に必要なコストに見合わなければ閉園もアリだと思う
・民間での支援が必要な児童の受入れ体制、市の相談窓口等が整っていれば、あえて園児の少ない幼稚園を維持していなくても良いのではないかと思います。その分のコストを、他の教育に関する経費にあてられたら良いと思います。 ・送迎や3年保育等のサービス面だけを考えると、今後も入園児の増加は厳しいように思います。

幼稚園のホームページを見て、先生方はがんばっているが、市の努力、とくに園児を集める努力が不足していると感じた。 集客努力をせずに少なくなったのでやめます、というのは、ちょっと残念(魅力がない) 人口減少のなか、自治体として生き残るために若い世代に選んでもらう必要がある。 千葉ニュータウンのように新しい街ではなく、働く場所が少なく、東京など他の地域に通勤するのには不便。 現時点ではこれらを差し引いても「住みたい、引っ越してきたい」と感じる、子育てに関する魅力的な施策がない印象。 子育てに困っている人は一定数いる。ニーズもさまざまあるので、本気で幼稚園を存続させたいと佐倉市自身が思っているのなら、まだやるべきことがあるように感じる。
税金が高い中、行政コストの効率化はやむを得ない。 他なら代替手段があるのなら、民間を利用すべし。 それを反対する議員の理由が本当に何かになってるのか？ 既得権を温存するだけではお金がいくらあっても足りない。
佐倉市はもっと育児がしやすいエリアに生まれ変わるなどの施策を考えてみては？ 年寄りの多いイメージが強すぎて、若い世代が離れて行く。
少子化対策は必要だと思うが、園児が不足しているのではコストがかかりすぎると感じる。民間プラス行政のサポート、援助ができればいいと思う。子育て世帯を増やす長期的な施策も必要だと思う。
私は佐倉市民になって日が浅く、佐倉幼稚園のことをよく知らないが、客観的に考えて入園児が数名の幼稚園を維持する必要性を感じません。
今の少子化を考えると閉園もやむをえない。 ただし、閉園をすることで余る運営コスト等を市内の民間幼稚園に通う市内在住者への子供の助成に使う方が良い。 令和7年の募集はせず、令和5年入園児1名と令和6年の入園児6名の市内民間幼稚園への転園をしてから閉園をするのですね？ 行政として果たすべき事を放棄しないでほしい。
市立の幼稚園は維持すべきだと思います。出生数が減少し続けているので、入園時が減ることは当然のことだと思います。しかし、佐倉幼稚園は入園児を増やすために、どのような取り組みをされたのかは「現状と課題」には書かれていませんでした。このアンケートは廃園ありきで「市民も廃園が妥当と考えている」という回答を導き出そうとする恣意的なものを感じました。少子化の時代だからこそ、公立の幼稚園だからこそ、いろいろな取り組みができるということを示してほしい。それは保護者や地域の親子や職員が願っていることかもしれません。民間は採算が取れなければ撤退します。採算が取れないような運営はしません。民間で間に合うから、市立はいらないというわけではないと思います。民間に遠慮しないでください。唯一残した幼稚園まで廃園にしたら佐倉市は幼児教育から手抜きしたと思います。
女性が働くのが当たり前になった事で母親は可愛い盛りの我が子を早いうちから預けて社会復帰するしかない。そうなると時間的に幼稚園ではなく保育園に預けるしかなく今後の幼稚園経営はもっと厳しくなると思う。私立幼稚園でも預かり保育をする所が増えているようなので佐倉幼稚園でも力を入れるべき。資格がありながら宝の持ち腐れにしていって再就職しにくい50代以上の保育士や幼稚園教諭資格のある子育てが落ち着いた主婦などを短時間勤務でどんどん使うべきだと思う。
まずは子育て世代が生活しやすい環境を整備する必要がある。 産業廃棄物処理場等の環境悪化が進む懸念があり行政による定期的な検査、業者からの報告等による可視化を徹底し教育環境の向上が必要と史料。

1. 設問7、項番2の運営コストは、同封の「アンケート前に一読下さい」項番4に「運営コスト約8,800万円は市が負担している。」と有り、これだけ読むと市が全額負担していると思ってしまいます。教育無償化は国の施策で有る事から、国から補助金が出ているのでは？と思いますが、如何でしょうか。もし補助金が出ているので有れば、市の負担額のための明示が求められると思います。市民が正確に理解出来る説明文をお願いします。 2. 民間は利益の為に事業を行い、市は市民の幸せの為に行政を行うと思っています。民間幼稚園が儲からず、廃業する所が増加した場合、佐倉市はどう言うプランを持っているのですか？まずは佐倉市立幼稚園は、もっと新しい試みを行い、保護者(特にお母さん方)から民間幼稚園より魅力的だと思われる幼稚園作りを考え挑戦すべきで有り、また将来を見越して、幼稚園の経営、様々なノウハウ、施設の継承を今後も続けるべきだと思います。 3. 田んぼを廃止すると再生するのにかなりの時間を要する様に、幼稚園運営のノウハウも一度失われると再生がかなり厳しいと思います。皆さんも大変でしょうが、「将来の佐倉市を見据えながら、またバランスを取りながら、」良い判断をお願いします。
子どもがいないので、よくわからない部分もありますが、公立の教育機関がゼロになるのは違うと思います。入園者数が少ないのは少子化だけが要因なのでしょうか。公立の学校全てに言えることですが、もっと学校ごとに特色を売りにして学区を超えてでも入学したいと思える場所を作るべきではないでしょうか。おとなになってから佐倉市に来ましたので実は公立の幼稚園があることを今回初めて知りました。民間ではできないこともあると思います。ぜひ特色を打ち出して、佐倉幼稚園を卒業した子たちが、誇りに思えるようなステキな幼稚園になったらいいですね。でも、マンモス規模の幼稚園卒の私は大きすぎるキャパはあまりにも辛かったので、少人数なのは羨ましいです。
現状と課題の資料を読みましたが、市としての閉園したい理由だけが書かれているように思いました。色々な状況は何も公立だけが大きなわけではないと思います。 今の世の中に合った、佐倉幼稚園のあり方を今一度検討していただければと思います
なぜ入園人数が少ないかに目を向けるべき。 今はどの幼稚園もバス通園できることもあり、選択肢が広がったため、少子化だけが理由ではないと思われます。 選ばれないには運営にも原因があると思います。 そこを改善できる余地がないのであれば、閉園もやむを得ないかなと思います。
昨今の働き方により保育園に預ける世帯が多くなり、また幼児教育無償化の制度により民間幼稚園を選ぶことが可能になりました。 現在的人数では先生の目は行き届きますが、集団生活という点では不十分だと思いますので、閉園はやむを得ないと考えています。 ただ、幼児教育無償化の制度がどのくらい続くのか検討がつきませんし、突然終了となることもあるかもしれません。そうなると保育料が安い公立幼稚園が必要になってくることも考えられます。 閉園にするのなら「公立幼稚園があったら良かったのに」と言われることのないように十分検討をお願いします。
入園児が見込まれない幼稚園の運営コストを待機児童がいる地区の保育園、幼稚園等のコストに充てて欲しい。
入園児が少ない現実を踏まえれば 民主的に多数決を行い、その結果閉園となるのなら仕方ないと思う。 限られた市民税収入を投入するにあたり、一部の声が大きい反対派の為に10人以下しかいない市立幼稚園を維持運営する事は無駄だと思う。
やはり、その地区自体も子どもの人数が今後増えるとは思えないので閉園すべきかと思う。

運営費を市で賄っている以上、公立の幼稚園を維持するには公立にしかできない事をみつけてそれをやっていくしか方法はないと思う
(それが何だかまったく見当もつかないが) 成功している国内外の取り組みを参考にしてバズる幼稚園を目指してほしいと思います
子どもファーストで親も預けて安心な幼稚園を
経営の専門家に相談してみてもいいかもですね

通園させている人からすれば維持してほしい気持ちは理解できるが、入園児童が極端に少ない現状からみて、待機児童の多い地域への保育者の異動を行い入園可能児童を増やすことや、新たな保育園を作るなど待機児童の減少を目指してもらいたい

即刻来年度に閉園すべきと思います。
需要に対して運営費が膨大過ぎで、その予算はほかの子ども支援に充てるべきと考えます。

普通ってたものとしてすごく寂しいですが、ご時世的に仕方ないかなと思います。

佐倉幼稚園を卒園しました。当時はくじ引きで入園者を決めていたくらいだったので、現状を知って大変驚きました。
今は時代の変わり方も早く、これからどう変わるかも予測しづらいですし、現状、私立幼稚園が優勢であっても、公立の幼稚園を廃園するのは慎重になった方が良いでしょうと思います。
運営については、教育関係者や子育て世代だけでなく、広く意見を募ってみてはどうですか？
また、幼稚園教諭の質はどうなっていますか？個人的な思い出になりますが、幼稚園の時の先生に良い印象がありません。まだ覚えているくらいですから、幼児の頃の記憶は侮れないと思うのです。良い印象がなければ、自分が子供を持った時に入園させようと思わないと思います。
少しでも何か参考になれば幸いです。まずはもっと声を大にして、様々な手段を用いて広く助けを求めることをしてください。解決策は必ずあると思います。